

2005 年 7 月 25 日

報道関係者各位

C K D 株式会社

液晶用バックライト製造装置の受注が好調のため、 生産能力を 3 倍に増強します。

当社は、2005 年上期のバックライト製造装置の受注が好調の為、生産体制の増強を行います。

当初計画では、バックライト製造装置の受注計画を、8 ライン・20 億円を計画しておりましたが、液晶テレビの大型化に伴い当社の得意とする 1000 mm を超えるサイズの製造装置の引き合いが急増しており、上期の受注可能な装置数は、23 ラインを見込んでいます。

この数字は、上期から下期にかけての生産能力とも密接に関連しており、納期対応が可能なものに限って受注しております。

今年 5 月後半から受注が増加に転じ、日本国内はもとより海外（アジア各国）からの引き合いも増え、受注成約件数が計画を大幅に上回る状況が続いています。引き合いが急増した要因は、大型液晶市場でのバックライト需要が急増し、バックライトメーカーの設備計画の多くが前倒しになったためであります。

当社への引き合いが多いのは外販しているバックライト製造装置のメーカーが限られており、特に 1000 mm を超える製造装置についてはこの傾向が顕著です。

引き合い件数は今後も継続すると思われ、生産拡大の為の設備増強や人材確保に全力をあげて取り組んでいます。急激な需要増加のため、生産能力に限界があり納期対応でお客様にご迷惑をおかけしている状況が続いています。

今回の生産増強の規模は、設備増強に約 2 億円、人員増員が約 50 名、生産スペースの拡大は約 1300 平方メートルで、当社小牧工場で行います。

スペース拡大については、工場増設ではなく全社的な生産拠点政策の見直しの中で、商品の生産移管を含めて検討し確保しています。

また、当社の生産増強体制とは別に部品加工関係の協力企業様や、主要電装部品・主要機能部品の供給メーカー様に対しても、生産拡大の協力をお願いし万全の体制で望んでいます。

現在受注している物件は、製品納入が9月以降となるため売上に寄与するのは2005年下期以降になる予定で、自動機械部門の通期売上は当初計画比30%増を予測しています。

自動機械部門の売上金額は、CKD総売上の約20%であり、業績全体に寄与するのは約6%（50億円）程度を見込んでいます。

バックライト製造装置以外の薬品用自動包装システムや、はんだ印刷検査装置は計画どおり順調に推移しており、バックライト製造装置の受注増加分が上乘せされた形になっています。

機器部門については、半導体関連が弱含みではありますが、自動車関連は好調で当初計画どおり推移するものと思われます。

なお、通期の業績予想に関しては下期が不透明なため、上期の落着並びに下期の見通しのついた段階で修正を検討いたします。

以上

問合せ先

CKD株式会社

総務部 坪井又は杉浦

TEL 0568-74-1238

FAX 0568-71-4322